

みちづくり懇談会のまとめ

第6回懇談会で地域住民の総意としてひとつにまとまったことから、平成16年6月14日に行われた第9回のワーキンググループで「提言書」として以下のようにまとめました。

提 言

昨今の日本経済の状況や少子高齢化の中、能登地域における人口は2030年には2000年に比べ、約40%減少すると推定されています。そのような社会背景の中、我々が求めていることは、「心ゆたかな生活」と「能登地域における経済活性化」であります。そのためには「観光の振興」が最も重要であり、「地域への交流人口の増加」が求められています。

したがって、本検討区間のルートについては、地域を通過するための道路ではなく、「地域の発展と能登の自然にやさしいみちづくり」「観光地に近くゆったり」をコンセプトとしてまとめました。

本提言書は、懇談会の結論を受け、以下の内容を提言するものです。

1. 少ない事業費で早期に完成できる道路とすること
2. 地域への立ち寄りが期待できる道路とすること
3. 自然環境や貴重な動植物などに配慮した道路とすること
4. 家屋移転など社会的影響が少ない道路とすること
5. 交通安全対策、自転車・歩行者等、沿道利用者への対策に配慮した道路とすること

以上を踏まえ、能越自動車道（田鶴浜～七尾）のルートについては、一般国道249号を一部活用する案を地域住民の総意として、早期にルートを決定するよう提言します。

また、能越自動車道へのアクセス道路整備等について関係機関に働きかけを行うことを併せて提言します。